

課目名	関係法規						
課目名(英)							
単位数	—		時間数	30時間		担当者	福浦ユサミ
実施年度	2019年		実施時期	後期		実務家教員 担当課目	
対象学科・学年	美容科 2年						
授業概要	法制大意、衛生行政、美容師法の概略を理解するとともに、関連する法規に対する理解を深めることにより、授業の後、各单元ごとに基本的な問題を解き、国家試験対策として過去問題を1回から40回まで解くことにより国家試験合格を目指す。						
授業形式	講義:	○		演習:		実習:	
						実技:	
						※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					法制度の概要(社会生活における法の役割、法の形式等)を説明することができる。	
	○					衛生行政の概要(衛生行政とは、衛生行政を担う行政機関)を説明することができる。	
	○					美容師法(目的、構成、美容師・美容所関する規定、行政処分等)を説明することができる。	
	○					関連法規(運営・衛生)に関する法律を説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	教科書 プリント(基本練習問題・過去問題・応用問題)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	法制度の概要 I・II 社会における法の役割、衛生法規とは				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	衛生行政 I・II 衛生行政の運用について、保健所の役割と機構				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	美容師法の目的・構成 附属法令、法の運用にあたる行政機関				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	用語の定義・美容師養成施設・美容師試験 受験資格等				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	美容師免許 美容師免許とは、欠格条件について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	美容師免許登録 免許申請手続き、免許の効力等				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	美容師の義務・免許の変更手続き 遵守義務、具体的な変更手続き				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	業務停止等・管理美容師とは 管理美容師の資格取得等				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	美容所の開設 開設届、提出先、検査確認、変更等				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	開設者の義務・美容所以外での業務・立入検査				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	行政処分・罰則 具体的な処分及び罰則とは				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	関連法規 美容業を行う際の関係ある法律について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	国家試験対策 過去問題を解く					
	14	国家試験対策 過去問題を解く					
15	国家試験対策 応用問題を解く						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業態度は、出席・提出物・授業中の居眠りの回数などで評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					80%
	授業態度				○		20%
履修上の注意	語句が難しいので、文章をよく読んで何が書かれているかを理解するように心がけて下さい						

課目名	香粧品化学						
課目名(英)	Cosmetic Chemistry						
課目単位数	—	時間数	30時間	担当者	中川 貴彦		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当課目			
対象学科・学年	美容科 2年						
授業概要	香粧品における化学物質の名称とその作用についての基礎的な知識定着を図るとともに、国家試験の傾向をつかみ対策を行うことで、国家試験化学分野での満点取得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					香粧品の性状や使い分けが説明できる	
	○	○				社会的な意義や法的な根拠および安全性について学び、それに関する選択問題の与えられた選択肢の中から適切な答えを判断することが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	教科書「香粧品化学」						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	1章 香粧品概論 復習			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。		
	2	2章 香粧品用原料 復習			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。		
	3	3章 基礎香粧品 復習			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。		
	4	4章 メイクアップ用香粧品 復習			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。		
	5	5章 頭皮・毛髪用香粧品 復習			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。		
	6	6章 芳香製品と特殊香粧品 復習			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。		
	7	基礎化学 復習			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。		
	8	国家試験 過去問題演習 ①			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。		
	9	国家試験 過去問題演習 ②			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。		
	10	国家試験 過去問題演習 ③			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。		
	11	国家試験 過去問題演習 ④			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。		
	12	国家試験 過去問題演習 ⑤			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。		
	13	国家試験 過去問題演習 ⑥			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。		
	14	国家試験 過去問題演習 ⑦			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。		
15	国家試験 過去問題演習 ⑧			授業で使用したプリントは必ずファイルに綴じておくこと。			
評価方法	①定期試験(筆記) ②プリントファイルの提出 ③授業中の態度 ③授業態度は、出席・授業中の居眠りの回数などで評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	提出物				○		10%
	授業態度				○		10%
履修上の注意	試験はほぼ授業内容からの出題となる。授業で配布するプリントが試験範囲そのものとなる。試験は国家試験内容を前提とし、語句などの知識問題、そして国家試験のように文章を読んで正誤を判断する問題などを多く扱う。						

課目名	シャンプー＆ブロー						
課目名(英)	syampoo & blow						
課目単位数	—	時間数	30時間	担当者	西依優 吉田由花子 渡邊正明 遠藤広美		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当課目	○		
対象学科・学年	美容科2年						
授業概要	サイドシャンプー及びバックシャンプーの技術工程を理解し、反復練習を実施することで卒業後の即戦力となり得る技術習得を目指す。また、基本のブローテクニックをモデルに対して練習していく事で、ウィッグでは体感できない注意点を理解する。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			バックシャンプーの手順を覚え、手技を習得する	
				○		お客様への施術を通して、快感をあたえ、心身のリラクゼーション効果を高めるよう配慮できる	
			○			即戦力となるレベルのシャンプー技術を習得する	
			○			ブローのテクニックを実施し、様々なヘアスタイルに対してのスタイリングの工夫ができる	
			○		ブローテクニックを人頭で実施する事で、その注意点やテクニックを理解する		
テキスト・教材 参考図書	美容技術理論① シャンプー＆ブロー道具一式						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	バックシャンプー 手順の確認・復習			バックシャンプー の手順を事前に確認しておくこと		
	2	ブロースタイリング 相モデルによるハンドブローテクニック			ブローの基本技術を事前に復習しておくこと		
	3	バックシャンプー プレーンリンスのテクニック			ストロークの練習をしておくこと		
	4	ブロースタイリング 相モデルによるストレートブローテクニック			ブローの基本技術を事前に復習しておくこと		
	5	バックシャンプー あわ立てとストロークの大きさ・強弱			ストロークの練習をしておくこと		
	6	ブロースタイリング 相モデルによるストレートブローテクニック			前回の技術を事前に復習しておくこと		
	7	バックシャンプー トリートメントテクニック			ストロークの練習をしておくこと		
	8	ブロースタイリング 相モデルによる内巻きブローテクニック			前回の技術を事前に復習しておくこと		
	9	サイドシャンプー 手順の確認・相モデルによる反復練習			ストロークの練習をしておくこと		
	10	ブロースタイリング 相モデルによる内巻きブローテクニック			前回の技術を事前に復習しておくこと		
	11	サイドシャンプー 相モデルによる反復練習			ストロークの練習をしておくこと		
	12	ブロースタイリング 相モデルによる似合わせブロー			前回の技術を事前に復習しておくこと		
	13	サイドシャンプー・バックシャンプー 相モデルによる反復練習・実技テスト			実技テストの準備をしておくこと		
	14	サイドシャンプー・バックシャンプー 相モデルによる反復練習・実技テスト			実技テストの準備をしておくこと		
15	サイドシャンプー・バックシャンプー 相モデルによる反復練習・実技テスト			実技テストの準備をしておくこと			
評価方法	(1)実技テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト		○	◎			90%
	授業態度				◎		10%
履修上の注意							

課目名	デザイン						
課目名(英)							
単位数	—	時間数	16時間	担当者	仲真市		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当課目	○		
対象学科・学年	美容科2年						
授業概要	線の基本的要素から始まり、明暗・陰影の現象を再認識することで、形とボリュームの捉え方を学び、また、色彩学の基礎を理解させることで美容業のカラー、メイクアップとの関連付けができ、より深い知識が備わる。デッサンを通して美を追求する力と感性を育む。それらは就職しその後の成長時に大きく寄与する。鉛筆を用いて線描 > 優美な線の表現を身につける、濃淡による陰影表現 > 眼で得る情報を分析し再構築して画面に表現する。視る力は感性を通して手技の身体能力たる描写力に直結する、逆に描写力養成は感性を育む。感性は手仕事、表現に必須である。絵具と筆を用いて色彩効果を学習し、人物が備える色彩を混色で的確に表出する。色彩が量感、空気感をも表現することを各々感得することを目論む。ちょっとした違いに気付くことが大切、ちょっとした差が「凡庸」と「非凡」の大差である。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					色彩体系を説明できる	
	○	○				人物の骨格を表現できる。	
	○	○				毛髪の流れと量感を理解し、適切な表現方法を選択できる	
	○	○				画材による中間色の表現を会得する。人間の特色を感得し表現できる	
テキスト・教材 参考図書	必要に応じてA4印刷物、A4画用紙を配付。デッサン道具一式。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	色彩演習－色彩の体系を説明。原色のみで混色し色相環制作。いくつかの具体例を混色で再現する。			各回で演習する配付物、制作する作品を丁寧に、毎回の授業の期日までに仕上げる。		
	2	色彩演習－指定の色を短時間で再現する演習。					
	3	人物イラストレーション－人物の写真を用いてフルカラーイラストレーションを制作する。トレーシング。					
	4	人物イラストレーション-眼を描く。細密な筆遣いを心がける。					
	5	人物イラストレーション-眼唇の形状と色彩を観察する。皮膚の色味を再現する。					
	6	人物イラストレーション-毛髪の明暗変化を観察し再現する。量感を獲得する。					
	7	人物イラストレーション-完成、合評する。					
	8	人物デッサン-互いにモデルになり、鉛筆で素描する。全身の比率を学ぶ。					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)各回で演習する配付物、制作する作品を丁寧に仕上げる。(2)提出日時に提出する。(3)態度・意欲に関しては、作品の完成度・観察力・技量・集中力・思考力によって評価する。 下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作品、配付物			◎	○		100%
履修上の注意	提出物(毎回×切)+無遅刻無欠席						

課目名	ヘアデザイナーコース(カット&ブロー)					
課目名(英)						
課目単位数	—	時間数	150時間のうち60時間	担当者	西依 優 藤野 善友	
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当課目	○	
対象学科・学年	美容科 2年					
授業概要	頭の骨格を理解し、スタイルに合わせた技術、スライスのとり方を自分達で考えヘアスタイルを切れるようになる					
授業形式	講義: ○	演習:	実習: ○	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
		○				骨格を理解し説明できるようになる
			○			ヘアスタイルに合わせたスライスを取れるようになる
			○			提示したヘアスタイルを切れるようになる
		○	○			展開図を書けるようになる
		○			ヘアスタイルに合わせたスタイリングができるようになる	
テキスト・教材 参考図書	カット用具一式、ノート、必要に応じてA4プリント、スタイル写真を配付					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	オリエンテーション				
	2	個性心理学			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	3	骨格学			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	4	骨格学2			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	5	座学(スライスの取り方と意味)			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	6	実習1(スタイルに合わせたスライスを取っていく)			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	7	スタイル作成1			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	8	スタイル作成2			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	9	スタイル作成3			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	10	スタイル作成4			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	11	スタイル作成5			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	12	スタイル作成6			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	13	スタイル作成7			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	14	スタイル作成8			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	15	スタイル作成9			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	16	スタイル作成10			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	17	スタイル作成11			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	18	スタイル作成12			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	19	パーマ理論1			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	20	パーマ理論2			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	21	パーマ実習1			パーマの巻き方を練習しておくこと	
	22	パーマ実習2			パーマの巻き方を練習しておくこと	
	23	カラー理論1			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	24	カラー理論2			前回配ったプリントを読み返しておくこと	
	25	カラー実習1			カラーの塗り方を事前に練習しておくこと	
	26	カラー実習2			カラーの塗り方を事前に練習しておくこと	
27	ヘアスタイル作品作り1(理論テスト)			前回配ったプリントを読み返しておくこと		

	28	ヘアスタイル作品作り2(テスト)	今までのプリント、ノートを見返しておくこと					
	29	ヘアスタイル作品作り3(テスト)	今までのプリント、ノートを見返しておくこと					
	30	ヘアスタイル作品作り4(テスト)	今までのプリント、ノートを見返しておくこと					
評価方法	(1) 授業の中で小テストを1回実施する(2)筆記テストを実施する (3) 作品を時間内に創れるかテストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
		筆記テスト		○	○			30%
		小テスト		○				20%
		発表・作品		○	○	○		50%
履修上の注意	毎回の授業をしっかりと集中して取り組むこと。 技術の上達はまず真似ること、一つ一つの作業を丁寧に自己流にならずに取り組むこと。							

科目名	選択ブライダルスタイリストコース(ジェルネイル)						
科目名(英)	Gel nail						
単位数	—	時間数	150時間のうち24時間	担当者	林理沙		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当課目	○		
対象学科・学年	美容科2年ブライダルコース						
授業概要	ジェルネイル全般を学び、サロンワークに必要な専門知識、技術の習得をし、ジェルネイル検定初級を目指す。(任意)ジェルネイル検定とはNPO法人日本ネイリスト協会がお客様に安心して施術を受けて頂けるよう健全なジェルネイルの普及を目的に実施している試験である。また、サロンワークに必要な時短アートや持ちの良いテクニックを学びトータルビューティーで「美」と向き合っていく。この授業ではジェルネイルの特質と正しい知識の習得、ケアの必要性を理解し、幅広いアートを時間内に施す事を目指す。						
授業形式	講義: △	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○		○			ジェルを施す前にケアの必要性と手順を説明し、実施できる。	
						ジェルの特性や留意点を5つ以上説明できる。	
			○			お客様のカウンセリング後、時間を意識した施術ができる	
			○			企画書を作成し、時間内に作品を仕上げる	
テキスト・教材 参考図書	JNAテクニカルシステム、JNAジェルネイル						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	教材確認、シラバス説明、注意点、検定時期、1カラー塗布			1年次使用したネイル一式を持参、名前ペン持参		
	2	プレパレーション、用具溶剤説明、1カラー塗布、オフ			準備物を持参		
	3	アート(フレンチ・タイダイ)デモ、実践					
	4	前回復習、アート(バブル・お花)デモ、実践					
	5	前回復習、アート(お花パターン)デモ、実践					
	6	前回復習、アート(チェック・結晶・ツイード)デモ、実践					
	7	小テスト準備			ケアの準備		
	8	小テスト(プレパ、1カラー×2、フレンチ×1、オフ)					
	9	小テスト相モデル交代					
	10	ジェル理論と検定説明					
	11	小テスト			色鉛筆持参		
	12	小テスト					
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)作品 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○		○	○		50%
	発表・作品			○		○	50%
履修上の注意	ネイルの授業では相モデルで実施することが大半な為、自爪にしておく。						

課目名	ブライダルスタイリストコース(フラワーアレンジ)								
課目名(英)									
単位数	—	時間数	150時間のうち6時間	担当者	東 まゆみ				
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当課目	○				
対象学科・学年	ブライダルスタイリストコース 2年								
授業概要	生花の花の取り扱いを学び、実際にヘッドコサージュとして使用するときにどのような花を使用するのがよいか知る。 結婚式における衣裳に合わせた新婦のヘアコサージュ、ブーケの形を学び、実際に作成する。 他の科目とリンクしながら、髪型に合わせたヘッドコサージュのつけ方を学ぶ。								
授業形式	講義:	○	演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
			○			生花の取り扱い方、水揚げのやり方を学び実践できる			
			○			花の取り扱いを学び、花に合わせたヘッドコサージュの形、ラウンドブーケの特徴を掴み作成できる			
			○			ラウンドブーケの作り方を学び、巻き上げ、4ループリボンの作ることができる			
			○			ブーケと同じ花材を使用し、髪型に合わせたヘッド装花を作成できるようになる			
			○			丁寧な花の取り扱いができ、作品を完成させることができる			
テキスト・教材 参考図書	生花・ワイヤー・フローラルテープ・ブーケホルダー・リボン								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	花の特徴を知り、水揚げのやり方を学ぶ				旬の花をフラワーショップの店頭で見ておくこと			
	2	ヘッドコサージュのワイヤー、巻き上げ、綿の巻き方を学び、ヘアスタイルに合ったヘアコサージュを作る				新婦のヘアスタイルを考えておくこと			
	3	ラウンドブーケの作り方を学び作成し、仕上げのリボン巻き上げ、4ループリボンを作れるようになる				ブーケの本や写真を見て、自分の好きなブーケを見つける			
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
15									
評価方法	(1)花の水揚げ方法ができているかチェックする。(2)ヘッドコサージュの巻き方ができているかチェックする。 (3)ブーケの手順がマスターできているかチェックする。(4)ブーケ、ヘッドコサージュの完成度合いをチェックする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	小テスト	○	◎				20%		
	発表・作品			◎	○		80%		
履修上の注意									